



ゆりかごWEC学院の3・4歳児は北方町
蔵田の田口ファミリーファームで「いち
ご狩り」を楽しみました。

すこやか子育て相談

電話や面談のほか訪問相談もお受けいたします



ひよこぐみ読み聞かせ

はけたよはけたよ

作：神沢 利子
絵：西巻 茅子
出版：偕成社

一人でパンツをはけないとつくん。パンツをはかないで外に飛び出したら動物たちがやってきて、つるつるのおしり、しっぽがないと笑います。でも、おうちに帰ってふと思いついた方法ではけるになります。●絵本紹介：「まほうのつえ」の野田一穂さん



第二ゆりかごWEC学園 児童クラブ

放課後児童支援員 満吉公一さん

児童クラブで働き始めて8年目になります。体育の教員免許を持っているので運動遊びを専門に園児や児童クラブの子どもたちと一緒に体を動かす体験活動をしています。幼い頃から感覚的な遊びをすることは脳が活性化し、運動だけでなく学習能力の向上にも繋がると思います。運動の楽しさをこれから多くの子どもたちに伝えていきたいと思います。



おやこの森のサークル 当事者の会

問合せ先
おやこの森 (☎33-0204)

自分たちで集い作る当事者同士のサークル活動です。当事者だから分かる悩みや心配事などを共有する人たちが自然に集い、積極的に活動されています。

校区内の学校へ登校していない子どもと保護者だけの会です。

当事者同士だから分かること、それぞれの思いを皆で共有する場として活動しています。

個人情報は秘密厳守で、学校名やお名前はあかさなくても参加できますし、途中参加や途中退会は自由です。

開催日／毎月1回

レインボーカーの会 (多様な学びの親の会)

参加しませんか？



すこやか イヤイヤ期をヤルヤル期にする関わり方 ネットワーク

「えんキッズ」相談員・公認心理師

梶田 智奈美 さん

前号で、1歳半から3歳頃の子どもの自分でやりたい！自分でできる！の育ちの時期をイヤイヤ期でなく“ヤルヤル期”と受けとめることを説明しました。今回は“ヤルヤル期”的子どもへのかかわり方についてお伝えします。

ヤルヤル期が、子どもの気持ちのコントロールや人とかかわる力を身につけるための大切な育ちの時期だとわかっていても、日々の生活で、ぐずることに付き合っていくのはとても大変なことです。子どもが「イヤーッ、イヤ」と言わずに「ヤルーッ、ヤル」と言ってくれたら、親の気持ちは軽くなるでしょうが…(まだことばの表現が追いつかないで仕方ないですね)自分でやりたいのに、思ったように動けない時は「イヤだね、わかったよ、ここだけ手伝おうか」と、子どもの思いをことばにして状況を変えてあげてください。「ダメ、やめなさい、こうやるの」と言うと状況悪化になります。大泣きや激しく駄々をこねている時は「イヤねー、自分でやりたいねー」と抱っこして、その場を離れ、親子で気分転換してください。

うまくかかわる工夫を詳しく知りたい、困っている今の気持ちを聞いてほしい時は「えんキッズ」に遊びに来てください。スタッフや相談員と一緒におしゃべりして、それぞれの親子育ちを考えていけばと思います。



離乳食(中期)

① ブロッコリーと牛乳の煮物
じゃがいもは皮をむいて
やわらかくなるまでゆでます

② ①をペースト状に
なるまでつぶします

③ 鍋にお粥と②、水を加え2L程度
かき混ぜて冷ましたら完成です。

材料 (1人分)

- ・ブロッコリー 10g
- ・じゃがいも 10g
- ・お粥 25g
- ・水 35cc